

**BSMLB04/BSMOB04 シリーズ
取扱説明書**

安全にお使いいただくために必ずお守りください

危険
絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。

- 電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - 分解、改造、修理しない。
 - 電極の(+)と(-)を針金等の金属で接続しない。また、金属性のネックレスやヘアピン、カギ等と一緒に持ち運んだり、保管したりしない(接触し、ショートする危険性があります)。
 - 火の中に投入したり、100℃以上の高温の場所や水の中に放置しない。
 - 釘を刺したり、かなづちで叩いたり、踏みつけたりしない。
 - 以上を守らないと、液漏れ、発熱、発火、破裂等が起こり、やけどやケガをする恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起す危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

警告
絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の指示を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - 電極の(+)と(-)を間違えて挿入しない。
 - 消耗しきった電池を入れたままにしない。使用済みの電池は、地方自治体の条例に従って正しく処分する。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り出し、常温の乾燥した場所に保管する。
 - 以上を守らないと、液漏れ、発熱、発火、破裂等が起こり、やけどやケガをする恐れがあります。
- 電池を使用、交換するときは、指定の電池を使用してください。指定以外の電池を使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂等が起こり、やけどやケガをする恐れがあります。
- 電池内部の液が漏れたときは、液に触れない。やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

注意
この表示の注意事項を守らないと、使用者がケガをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品を次の場所に設置しないでください。感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を与える場合があります。
 - 強い磁界、静電気、震動が発生するところ、平らでないところ、直射日光が当たるところ、火気の周辺または熱気のあるところ、湯気、湯水の危険があるところ、油煙、湯気、蒸気やホコリの多いところ。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。
- 異常を感じた場合は、即座に使用を中止し、弊社テクニカルサポートセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

マウスご使用時の注意

- センサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。
- ボタンが常に押されている状態や、マウス本体が常に動かされているような状態が長く続くと、電池の消費が早くなりますので注意してください。
- カバン、袋などに入れて持ち歩くときは、電源をOFFにしてください。

レーザー式マウス(BSMLB04)ご使用時の注意

本製品は、不可視レーザーを使用しているため、目に障害をきたすことのないclass1該当品ですが、レーザー発光部分を直視することは避けてください。ガラスや鏡面などの上では正常に動作しない場合があります。

光学式マウス(BSMOB04)ご使用時の注意

光学式読み取りセンサーの性質上、光沢のある面や透明な面、色柄の激しい場所では認識率が低下したり読み取れない場合がありますので、ご使用にならないでください。やむを得ずご使用になる場合は、マウスパッドなどをマウスの下に敷いてください。

電圧に関する注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

次の場所では、本製品を使用しないでください。電子レンジ付近の磁場、静電気、電圧障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります)。

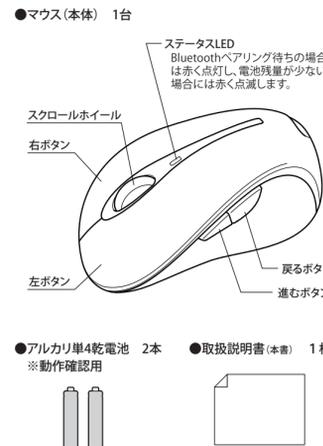
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある認証ラベルをはがすこと
- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場・製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 特定小電力無線局(免許を要する無線局)
 - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止し電波干渉を避けてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	GFSK方式
想定干渉距離	5m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避不可

付属品がすべて揃っていることを確認します



- マウス(本体) 1台
- アルカリ単4乾電池 2本
- 取扱説明書(本書) 1枚

本製品に、Bluetoothアダプター(dongle)は付属していません。パソコンに標準搭載のBluetooth機能または弊社製BluetoothアダプターBSHSBD04シリーズ等をお買い求めの上、ご利用ください。

本製品の使用方法

- マウス本体底面の電池ボックスの蓋を外します。



電池ボックスの蓋を開ける際は、爪などが傷つかないようにご注意ください。

- 本体裏面にある電池ボックスの蓋を開け、単4電池を入れます。 ※+と-を絶対に間違えないでください。



- 本体の電源スイッチをONにします。

ステータスLEDの表示について

状態	ステータスLED
電池残量が十分な場合	電源を[ON]にすると約1秒間赤く点灯します
電池残量が少なくなった場合	赤く点滅します
ペアリング待ち	赤く点灯します

電波到達距離について

- 非磁性体(木の机など) ⇒ 約10m
- 磁性体(鉄製の机など) ⇒ 約3m
- ※ 弊社テスト値につき、保証値ではありません。

PINコード(パスキー)について

Bluetooth ver2.0以下はPINコード(パスキー)を要求される場合があります。その場合は「0000」を入力してください。

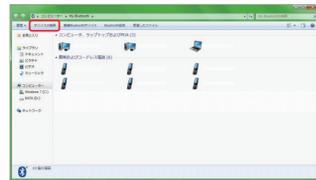
パソコンでの設定手順

ここではMotorola社製のBluetoothソフトウェア、弊社Bluetoothアダプター(BSHSBD04)での設定方法を記載します。他メーカーのソフトウェア、Bluetoothアダプターを使用している場合は、そちらの手順を参照してください。またBluetoothソフトウェアがインストールされていない場合には、別途Bluetoothアダプター(dongle)等をご購入していただき、その製品に添付されているマニュアルに従ってインストールしてください。

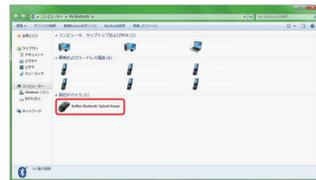
- ※ 下記手順はWindows7での手順ですが、Windows Vista/WPでも同様の手順になります。
- ※ 下記手順は[BSMOB04]を使用している手順ですが、[BSMLB04]でも同様の手順になります。

- マウス本体裏面のコネクトボタンを押します。(ステータスLEDが赤く点灯します)

- [スタート]-[(すべての)プログラム]-[Bluetooth]-[My Bluetooth]を選択します。下記の画面が表示されます。画面上部にある[デバイスの検索]をクリックして本製品の検索を行います。



- 検出された本製品のアイコンをダブルクリックします。
 - ※ Bluetooth機器が見つからないときは次のことを確認してください。
 - 本製品は通信可能な状態ですか?
 - BluetoothアダプターのLEDは点灯/点滅していますか?
 - 設置場所が良好ですか?相手側の機器と間に障害物はありませんか?
 - 以上のことを確認して、再度デバイスの検索をクリックしてください。



- 下記の画面が表示されたら[接続]をクリックします。



- [ステータス]が[接続済み]と表示されていることを確認して[X]をクリックして画面を閉じます。



- 本製品が接続されると、タスクトレイのBluetoothアイコンが(1)から緑(2)に変わります。

PS3®での設定手順

ここでは、PS3®での設定方法を記載します。

- PS3メニュー->[設定]->[周辺機器設定]で、○ボタンを押します。



- [Bluetooth機器の設定]で、○ボタンを押します。



- [はい]を選択して、○ボタンを押します。



- マウス本体裏面のコネクトボタンを押して、(ステータスLEDが赤く点灯します) [検索開始]で○ボタンを押します。



- [検索中です。]という画面がしばらく表示されます。



- 検索できたら、[Buffalo Bluetooth Laser Mouse]が表示されます。[BSMOB04の場合は[Buffalo Bluetooth Optical Mouse]と表示されます。] [Buffalo Bluetooth Laser Mouse]が選択(光っている状態)されている状態で、○ボタンを押します。



- [しばらくお待ちください。]と表示されます。



- 正常に設定が完了すれば、[Buffalo Bluetooth Laser Mouse]の左側に青く光ったマークが点灯します。正常に設定されていたら、×ボタンを押して、設定完了です。



マウスが動作しない場合

PS3の[Bluetooth機器の設定]画面で[Buffalo Bluetooth Laser Mouse]項目の左側が青く光っていない場合には、機器(マウス)名の登録だけされている状態で、接続されていません。

もし[Buffalo Bluetooth Laser Mouse]項目の左側が青く光っていない場合は、登録だけされている状態で、接続されていませんので、以下の手順で設定を行ってください。

- △ボタンを押して、オプションメニューを出します。



- マウス本体裏面のコネクトボタンを押して、(ステータスLEDが赤く点灯します) [接続]で、○ボタンを押します。



- [しばらくお待ちください。]と表示されます。



- [Buffalo Bluetooth Laser Mouse]の左側に、青く光るマークが点灯して接続完了です。×ボタンを押して、設定完了です。



お問い合わせ

お問い合わせについては、以下の順にご確認いただきますようお願いいたします。
マニュアル(印刷物、添付 CD 等)をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新 FAQ 情報、最新ドライバダウンロード**をご確認ください。

ホームページ
<http://buffalo-kokuyo.jp/support/>

上記で改善しない場合は、テクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

Webでのお問い合わせ
<http://buffalo-kokuyo.jp/support/toiawase/>

FAXでのお問い合わせ先
050-5805-9384

電話でのお問い合わせ先
※電話番号はお掛け間違いのないようご注意ください。
050-3163-3177 月～土(日・祭日、年末年始除く) 9:30～12:00 / 13:00～18:00

※050から始まるIP電話を利用しています。

修理品の発送先(A)

<送料先>
〒470-1121 愛知県豊明市西川町島原1-1
パナフローコクヨサプライ 修理センター宛

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、保証期間中保証の条件等を規定するもので、お客様がこの約款に同意された場合に適用される保証契約の約款となります。ご購入の製品は、ご購入の時点で弊社の検査済みであり、保証期間中に発生する故障は、保証期間中のものと見做されます。

- 保証(定期)
 - この約款において、保証書とは、保証期間中に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な品質保証書です。
 - この約款において、保証書とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を使用した場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
 - この約款において、無償保証とは、保証期間中に発生した故障の修理に必要となる費用を弊社が負担する期間をいいます。また、保証期間中に発生した故障の修理に必要となる費用を弊社が負担する期間をいいます。
 - この約款において、無償保証とは、製品が故障した場合であっても、無償保証が適用されないとき、お客様が費用を負担して弊社が行う当該故障箇所の修理を行います。
 - この約款において、製品とは、保証書が添付されている製品本体のみならず、本体部分でない、付属品および付属品などは含まれません。

- 保証(無償保証)
 - 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間中に弊社に対し、修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各条に規定する場合は、保証期間中であっても無償保証の適用を受けることができません。
 - 修理をご依頼される前に、保証書をご提示ください。
 - ご依頼頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo等の重要事項が記載または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo等の重要事項が変更、削除、もしくは変更されている場合、保証書が有効と見做されず、修理は有料となります。
 - 販売店が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類(レシート等)が添付されていない場合、お客様の保証書が有効と見做されず、修理は有料となります。
 - お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等の原因と認められた場合は、修理は有料となります。
 - 保証書が破損、汚損、失効、または、買取保証などの外部の要因により、故障または破損した場合、修理は有料となります。
 - 消耗部品が自然劣化または自然故障、消耗品が使用期限を過ぎた場合、修理は有料となります。
 - 保証書が破損または汚損、または、お客様の使用状況が、お客様の使用状況と認められる場合、修理は有料となります。

この約款の規定による修理は、次の各条に規定する条件の下で実施します。

- 修理の依頼時に保証書がテクニカルサポートセンターにご送付されていない場合、テクニカルサポートセンターにては各製品のマニュアル(電子マニュアル)を含みます。また、(レターケース)をご確認ください。保証書は送付先が保証書です。また、ご送付時には宅配便など送付方法が異なる場合、保証書は送付先が保証書です。
- 修理は、製品の分解または製品の交換もしくは修理により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品本体の修理費用を上回る場合は、保証書が有効と見做されず、修理は有料となります。修理費用は、修理費用と交換する事により対応させていただきます。
- ハードディスク等のデータ記録装置またはデータの修理に際しましては、修理の内容により、データクォリティは保証できません。また、修理費用は保証書に記載されたデータについてバックアップを作成したものと見做されます。また、修理は当該データの複製、交換などについてバックアップを作成したものと見做されます。
- 無償修理により、交換された部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させていただきます。
- お客様が修理により、交換された部品または旧製品等については、弊社にて適宜廃棄処分させていただきます。但し、修理費用が保証書に記載されたデータに起因する場合は、旧製品または旧製品の修理費用は、修理費用とは別に請求させていただきます。

保証(有償保証)
お客様が購入された製品について、弊社が故障または重大な過失があった場合を除き、無償修理を行っても不十分と判断した場合、修理費用は、当該製品の購入代金を標準とします。

この約款は、ご購入された製品について、修理に際しては、修理費用が保証書に記載された修理費用を標準とし、修理費用は保証書に記載された修理費用を標準とします。但し、修理費用が保証書に記載された修理費用を標準とし、修理費用は保証書に記載された修理費用を標準とします。

保証(有償保証)
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外での使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

製品の仕様、デザイン、および本書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。BUFFALO®は、株式会社パナフローコクヨの登録商標です。本書に記載されている他の製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、TM、®などのマークは記載していません。